



杉並区立
浜田山小学校

浜田山小学校
公式サイト二次元コード

学校だより第572号
令和5年度4月号

はまだやま



校長 緒方 康裕
副校長 越山 宗治

70周年を迎えるにあたり

校長 緒方 康裕

桜の見頃も、もう過ぎようとしています。つい二週ほど前には年度の納めである修了式、そして6年生を祝い、送り出す卒業式が行われたばかりであります。子どもも、そして大人も気持ちはすでに新しい学校、学年、学級に向いていることと思います。「初心を忘れずに」という言葉が昔からあるように、今この新しい気持ちや特別な思いを持続できるよう、学校でも指導体制、支援体制を常にアップデートしながら、子どもたちと一緒に楽しく過ごしていきます。

昭和28年4月に開校した浜田山小学校ですが、今年で70周年となります。5月末の航空写真撮影をはじめ、記念集会、記念式典、記念誌作成など多くの記念事業を予定しています。すでに地域の周年実行委員会が動いてくださっており、屋上の周年看板や校舎周辺およびメインロード商店街での横断幕設置も行われています。今後も地域と一体になり、各種事業を進めてまいります。地域全体が、「応援したくなる学校、協力したくなる学校」を目指します。

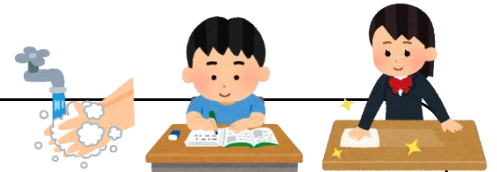
今年度は、3つある学校教育目標の重点項目を『やさしく 助け合う子』に変更しました。全国や東京都、杉並区で行われている各種意識調査の結果でも、「自己肯定感」「自己受容、他者理解」「友達と協働しながら取り組む」などの項目ではここ数年低めというデータが出ています。昨年12月に行った学校独自のアンケートでは、「小学校6年間でどのような子に育ててほしいと思うか」の質問に対し、「学校、CS」「保護者」「児童」のいずれにも上位で入ってきているのが、『思いやりのある子』『自分に自信がもてる子』でした。

点数化、可視化することのできない、「やさしさ」「自信」「思いやり」「自己受容、他者理解」をどう育てていくのか、学校全体が同じ方向を見ながら、研究・実践を重ねてまいります。

学校の「家庭理解」、家庭の「学校理解」を確実に進めることで、双方の「児童理解」がより一層深まります。今年度も学校と家庭・地域が子育てに関する良きパートナーとなりますよう、ご理解とご協力をいただければ大変ありがたいです。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



《 4月の生活目標 》 【学校のきまりをしよう】



新年度が始まりました。子どもたちは、新たな学年への期待に胸を膨らませていることでしょう。そんな子どもたちの気持ちを大切に、安全や人とのつながりに気を付けながら、日々の生活を充実させることで、楽しく安心した学校生活を送ることができるようしていきます。

さて、浜田山小学校では、学校全体で共通して守っていくべきことを、「浜小スタンダード」として示し、年間を通じて取り組んでいます。今年度から新しくなりましたので、ご確認ください。そして、毎月の生活目標を「浜小スタンダード」と関連付けて指導していくようにしています。「浜小スタンダード」の定着化を図り、より実践的なものにしていくためにご協力をよろしくお願いいたします。

今月の目標は【学校のきまりをしよう】です。「浜小スタンダード」だけでなく、浜小の登下校や放課後のきまり、通学路や交通安全なども毎月の安全指導日に確認しています。学年の発達段階に応じて、一つ一つ詳しく確認していくことで、学校生活でのあるべき姿をイメージさせていきます。毎日の健康観察も変わらずよろしくお願いいたします。

浜田山小学校では、忘れ物收容の棚を設置しています。記名のない忘れ物や落とし物が多いです。来校の際にはぜひご確認ください。週初めの上履き忘れも多いため、声かけをお願いいたします。